

# 笑顔で訪問 EVERYDAY

- いはなす通信 -

Vol.12



-0歳から130歳まで安心して住み慣れた地域で暮らせる支援をする-

ますます秋の深まりが感じられるこの頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

言語聴覚士の山内です。私はいはなすに入りちょうど2ヶ月が経ったところです。今回は、言語聴覚士(ST)の仕事内容について、簡単にご紹介します。STは、飲み込むことや話すこと、聞くことなどに不自由がある方や認知症の方、発達やことばの遅れがあるお子さんに対して、訓練・援助をします。具体的な対象者と訓練の内容です。訓練の内容は大きく分けて4つになります。

## 「飲み込み」の障がいに対して

病気や加齢などにより、食べ物を噛んだり飲み込むことが困難になる(=嚥下障がい)

- ・食事中によくむせ込む
- ・食べ物がつかえる感じがする
- ・食後にガラガラ声になる
- ・食べるとすぐに疲れて、全部食べられない

これらの症状はないですか？嚥下障がいは「誤嚥性肺炎」を招きます

- ・食べにくい、飲み込みにくい原因を評価する
- ・食事に関わる器官(舌や唇)の運動訓練と喉の筋力や飲み込みの反射を高めるような訓練を行う

## 「高次脳機能障がい」に対して

脳卒中や事故により、脳の機能が障がいを受けることで、様々な状態を引き起こすこと。

- ◆失語症：大脳の言語野が損傷され「話す」「聞く」「読む」「書く」ことが困難になる。
- ◆記憶障害：思い出せない、覚えられない。

言いたい言葉が出てこない  
話が理解できない

- ・機能訓練：障がいされた能力自体を訓練する。
- ・代償手段の獲得：保たれている能力を有効に活用できる方法を身につける。
- ・環境調整：生活しやすい環境や周囲との関わり方を検討・調整

## 「話すこと」の障がいに対して

構音障がい	音声障がい	吃音
<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳機能障がいにより、唇や舌の動きが悪くなり、呂律が回らなくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声に異常(かすれる、小さくなるなど)が発生する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳機能障がいにより、唇や舌の動きが悪くなり、呂律が回らなくなる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・口の体操</li> <li>・口の動きを意識しながらの喋りの練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な発声方法を練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練と合わせて、その方が話しやすい環境を調整</li> </ul>

## 「ことばの遅れ」に対して

知的発達の遅れ、対人関係の障がい、脳の損傷などにより発達が遅れているお子さん



- ・ことばやコミュニケーションに関心を持たせる
- ・語彙や文法、文字の習得を促し「ことばの獲得」をサポートする



食べることやコミュニケーションをとることなど、生きるうえでの大きな楽しみを共有し、利用者様のQOL(人生・生活の質)向上に貢献していきたいと思っております。言語聴覚士 山内 育未

9月27日に開催しました第3回はなすセミナーでは、38名の各関係者の皆様にご参加いただきました。「むかさ内科呼吸器内科クリニック」の向笠 洋介先生にご講義いただき、当事業所管理者よりお看取りの実践報告、その後グループワークを行い活発な意見が飛び交い非常に有意義な時間となりました。参加者の皆様よりいただいたアンケートを参考に、次回以降もより良いセミナーが開催できるように努めてまいります！！次回開催は来年3月を予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。 研修担当：亀谷 文弥

## セミナー報告



ビッグボイス瀬尾の  
毎日アクティブ！！  
BLOG



- いはなすブログも更新中です -

ぜひ一度ホームページに足を運んでみてください！！  
<http://www.reha-nurse.com/> 「いはなす」で 検索



STAFF-BLOG